

平成27年度 教育委員会重点施策（3つの柱と信州教育の推進体制づくりに基づく事業の展開）



学力の向上

- 拡 「未来を拓く学力」の向上事業【教育再生】（539万3千円）
 児童生徒の学力向上を図るため、家庭学習モデル普及や
 補充的学習サポートを実施
- 信州少人数教育推進事業(旧 活用方法選択型教員配置事業)
 【教育再生】(46億5,120万円)
 小・中学校において、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな
 指導ができる学習集団づくりに必要な教員を配置
- 拡 情報通信技術(ICT)を活用した確かな学力育成事業【教育再生】
 (2億429万円)
 - ・ ICTを活用した先駆的・モデル的な実践研究
 - ・ タブレット型端末の導入 特別支援学校12校
- 新 教員のICTを活用した指導力向上研修
- 魅力ある高校づくりの推進（1億9,410万7千円）
 - ・ 21世紀型の学力の育成を図るカリキュラムの編成・実施 66校
 - ・ 「学び直し」に係るカリキュラムの編成・実施 15校
- 新 普通科パソコン教室へのタブレット型端末の導入 7校
- グローバル人材育成事業【教育再生】（2億3,999万5千円）
 信州に根ざし世界に通じる人材の育成
 - ・ スーパーグローバルハイスクール指定校の運営
- 新 県独自の海外研修プログラム等による高校生の留学支援
- 新 JICA(国際協力機構)と連携したグローバルマインド育成講座
- 新 「信州学」推進事業【教育再生】<地方創生交付金活用事業>
 (115万4千円)※26年度2月補正
 児童生徒がふるさとに誇りと愛情を持ち大切にす 心情を
 育み地方創生に貢献する人材を育成

すべての子どもの学びの保障

- ◆いじめを許さない学校づくり
- 拡 学校生活相談体制充実事業【教育再生】（1,182万8千円）
 「学校生活相談センター」を設置し、臨床心理士の配置や
 24時間電話対応により児童生徒の悩みを解決する電話相談を充実
- 拡 スクールカウンセラー事業【教育再生】（1億4,998万5千円）
 スクールカウンセラーの配置を拡充し学校での相談体制を充実
- 新 いじめ防止子どもサミットNAGANOの開催（39万6千円）
 小・中学生、保護者が一堂に会し、児童生徒がいじめを自らの
 問題として捉え、主体的に未然防止に取り組む意識を醸成
- 新 高校生ICTカンファレンス長野大会の開催（34万3千円）
 高校生のインターネットやスマートフォン等の適正利用を推進
- ◆特別支援教育の充実
- 拡 特別支援学校への自立活動担当教員の増員（2億9,600万円）
 障がいの特性に応じた専門的な教育やセンター的機能を充実
- 拡 LD等通級指導教室の増設（7,650万円）
 発達障がいのある児童のための通級指導教室を増設
- 新 特別支援学校へ就労コーディネーターを配置（951万2千円）
 健康福祉、産業労働部門と連携し、一般就労率の向上を図る
- ◆困難や悩みを抱える子どもの支援
- 新 性被害防止に向けた指導充実事業（415万1千円）
 情報モラル教育の専門家などで構成するキャラバン隊を全ての
 県立高校へ派遣し、性被害防止に向けた指導を充実
- 拡 放課後子ども教室推進事業（2,093万6千円）
 - 新 「地域未来塾」への助成
 家庭での学習が困難な状況等の中学生に対し、
 地域住民の協力を得て学習支援を実施
- 経済的理由で進学が困難な生徒を支援するため県内の
 大学・短大に進学する際の入学金を給付（750万円）

体力向上とスポーツの振興

- 長野県版運動プログラムの推進（80万6千円）
 幼児期から中学生期までの成長段階に応じて開発した
 長野県版運動プログラムの普及
- 新 県立武道館基本構想検討事業（167万3千円）
 武道振興の中核的拠点となる県立武道館の建設に向け、
 機能、規模、運営方法等を有識者により検討
- 競技力向上事業（1億2,411万5千円）
- 新 第72回国民体育大会冬季大会に向けた特別強化事業を支援
 ・ 競技団体による育成・強化、指導者養成への支援等
- 新 第72回国民体育大会冬季大会開催事業（6,925万8千円）
 - ・ 白馬ジャンプ競技場の大規模改修
 - ・ 特別強化事業(競技力向上事業一部再掲)
 - ・ 準備委員会の設置
- 新 スポーツによる元気な信州創出事業（640万6千円）
 - ・ 信州のスポーツ環境の魅力を発信
 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催による効果を
 呼び込むため、各国競技団体の事前合宿を誘致
 - ・ 全国レクリエーション大会inながの開催
 全国的なスポーツイベントの開催により、県域を越えた
 交流人口の拡大や地域経済の活性化に寄与
 - ・ 「銀座NAGANO」を活用したスポーツ情報の発信
 Jリーグの試合等を放映し、「信州のスポーツ」を通じた
 新たな交流を促進

〔注 ※ 各事業の主な取組を記載
 ※ 【 】は、しあわせ信州創造プランのプロジェクト名〕

信州教育の推進体制づくり <教育行政の推進体制の整備・教育環境の維持改善・教育に関わる多様な主体との連携・協力>

- 教職員研修事業（1億998万円）
 長野県教員研修体系に基づき、ライフステージに応じた教員研修
 を実施し、教員の資質向上を図る
 - ・ 「初任者研修」、「10年経験者研修」
 - ・ 「キャリアアップ研修」(43～44歳で全員受講)
 - ・ 「管理職研修」、「派遣研修」等
- 信州型コミュニティスクール推進事業（348万9千円）
 学校と県民が協働する信頼される学校づくりの推進
- 新 信州型コミュニティスクール立ち上げのためのアドバイザー派遣
- 信州少人数教育推進事業【教育再生】(再掲)
- 高等学校施設整備等事業（39億5,393万1千円）
 - ・ 高等学校再編施設整備 建設工事等 4校
 (飯山2次統合校、須坂創成高校、佐久平総合技術高校、
 大町岳陽高校(仮称))
 - ・ 高等学校施設整備 老朽校舎5校、体育施設5校
- 特別支援学校整備事業（2億9,189万9千円）
 - ・ 再編整備(長野ろう学校プール・グラウンド建設工事等)
- 新 須高地区への特別支援学校高等部分教室を須坂商業高等
 学校内へ設置
 - ・ 施設計画整備 7校
- 総合教育会議(知事が主宰)
- 市町村教育委員会との意見交換等
- 新 特別支援学校へ就労コーディネーターを配置(再掲)
 健康福祉、産業労働部門と連携し、一般就労率の向上を図る
- キャリア教育支援事業【教育再生】【次世代産業創出】
 【雇用・社会参加促進】(1,162万6千円)
 学校、地域社会、産業界が学校を支援する仕組み(プラット
 フォーム)を構築し、児童生徒の職場体験、就業体験を実施